



ツルガ薬局
田邊 宗久

本物の証 サンクロン 笹原液100%

今回は「サンクロン」という医薬品について書かせて頂きたいと思います。先日「サンクロン」の勉強会に参加し、「サンクロン」を作るときに出る残渣(搾り取られた後の繊維物)の話を聞きましたので紹介させて頂きたいと思います。

その前に「サンクロン」をご存知でない方のために簡単に説明させて頂きます。「サンクロン」は笹の原液100%の医薬品です。体をきれいに、特に血液と胃腸をきれいにする働きがあります。

一番知って頂きたいのは、サンクロンは「医薬品」であるということです。青汁や野菜ジュース、クロレウなどはみなさんご存知だと思います。これらは全て健康食品なのです。効能・効果がない(どれだけ飲んでも効果が出ない)のが健康食品です。「〇〇に効く」とは言えないものです、実証されておりません。厳密に言うと、いくら飲んでも効き目として実証されるほどの効果が見つからないのです。



でも「サンクロン」は違います。医薬品であり、厚生労働省が中身を調べて効能効果が認められております。日本では体をきれいにする緑の野菜の補いで、医薬品に認められているものはたった3つしかありません。そのうちの1つが「サンクロン」であり、笹が入っている商品はたくさんありますが、笹の中ではサンクロンが日本一だと私は思っております。



サンクロンは笹の原液100%、無添加・無防腐剤で、中身の比重や濃度、品質にこれほど厳しくこだわって作られているものはありません。その証拠にサンクロン1本には約250枚の笹の葉が使われており、サンクロン1本つくと笹の葉の残渣(搾り取られた後のもの)も約250枚分出ることになります。毎日毎日サンクロンが出来るたびに、それに比例して残渣も大量に出来るのです。

この残渣は通常は廃棄処分に出され、1トン廃棄するのに数万円もかかります。サンクロンほど良質の笹にこだわり、これほど大量の笹の葉を使うところはなく、この廃棄処分だけでサンクロンは相当の金額負担になり、品質・濃度を落とさないと言われていけなくなるほどです。しかしサンクロンは品質・濃度を守ろうと何とか試行錯誤の末、この残渣を乾燥させて入浴・消臭剤として廃棄処分することなく、有効に活用する方法を見つけました。



笹の葉の残渣を室内乾燥させている写真

このたくさんの残渣が出ていることが、サンクロンがどれほどの量の笹を使って高い比重・濃度を保っているかの証だと思えます。これほど多くの笹の残渣がでているメーカーは、サンクロン以外にはないのです。